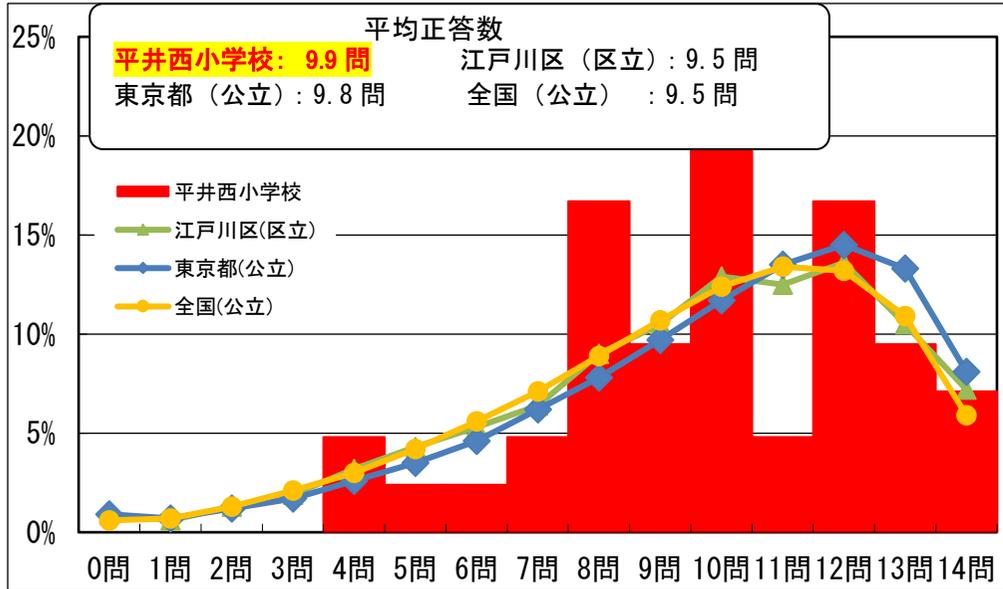


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 平井西小学校

正答数分布



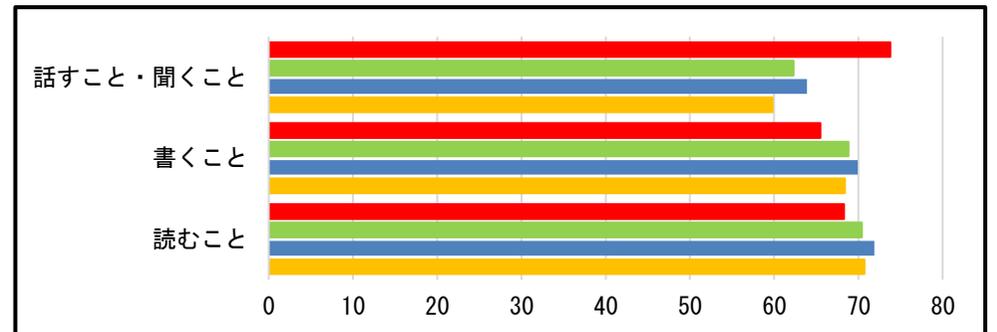
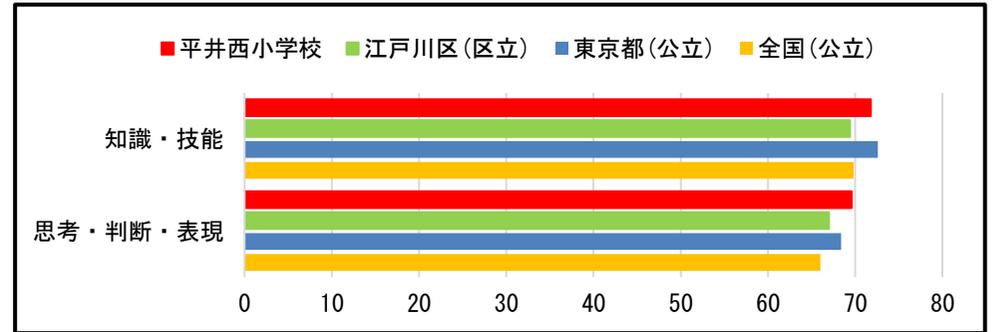
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14 問	B層 10~11 問	C層 8~9 問	D層 0~7 問
平井西小学校	33.3	26.2	26.2	14.4
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

平井西小学校	71%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	1ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

「領域別」の結果から、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「話すこと・聞くこと」が全国平均を上回っている。一方、「書くこと」、「読むこと」については全国平均を下回っているため、長文の読解と要約が苦手だと考えられる。物語文や説明文で新しい言葉や表現方法、漢字の読みの発見、「よむ YOMU タイム」の継続的な取り組みを充実させることで読解力を高めたい。また、自分なりの表現や考えを他者と共有するグループ活動を取り入れることで、多様な表現方法を身に付けるとともに、意欲を保ちながら学習を進めていく。